

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて（臨時版）

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

なお、今回のレベル引き上げは、1月6日（木）から11日（火）までの6日間の感染状況から臨時的に判断したものであり、1月14日（金）に改めて対策一覧も含めたリスクレベル資料の公表を予定しています。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	最大確保病床使用率 （使用数）	新規感染者数
1月6日(木)～1月11日(火)	11.8% (96名)	360名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（1月7日発表）	今回（1月12日臨時発表）
レベル1 なお、感染状況は拡大の兆しが見られる。	レベル2 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。

3 県民の皆様へのお願い

本県の新規感染者数は明らかな増加傾向にあり、若者の感染者増加や、飲食店・会食における感染拡大が見られていることから、さらなる増加が懸念されます。

県民の皆様におかれては、感染が著しく拡大していることを念頭に、改めて基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。また、わずかでも発熱等の症状がある方は、外出せず、すぐにかかりつけ医などに電話相談し、受診していただきますようお願いいたします。まん延防止等重点措置区域への不要不急の移動については極力控えるほか、感染リスクが高い3密のある場所への外出や移動は自粛をお願いします。

なお、レベル2から行うこととしている飲食店における人数制限要請については、近日中に詳細を発表します。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）1月12日】（臨時版）

1 熊本県における現状認識

全国的に、オミクロン株により感染が急拡大している。国内全体の感染拡大の速度はこれまでにないほど急激である。

本県の1月11日時点の入院者数は96人（最大確保病床に対する使用率：11.8%）、1月6日から1月11日までの新規感染者数は360人で、レベル2の新規感染者基準を既に大きく上回っている。病床基準には達していないが、病床使用率も増加傾向にあることから、本県のリスクレベルはレベル2に緊急に引き上げる。

本県の新規感染者数は明らかな増加傾向にあり、若者の感染者増加や、飲食店・会食における感染拡大が見られていることから、さらなる増加が懸念される。

県民の皆様におかれては、感染が著しく拡大していることを念頭に、改めて基本的な感染防止対策の徹底をお願いする。また、わずかでも発熱等の症状がある方は、外出せず、すぐにかかりつけ医などに電話相談し、受診していただくようお願いする。まん延防止等重点措置区域への不要不急の移動については極力控えるほか、感染リスクが高い3密のある場所への外出や移動は自粛をお願いする。なお、レベル2から行うこととしている飲食店における人数制限要請については、近日中に詳細を発表する。

前回（1/7発表）	今回（1/12臨時発表）
レベル1 なお、感染状況は拡大の兆しが見られる。	レベル2 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。

[熊本県リスクレベル]

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本県の基準		本県で想定する対策例
		病床基準※2	新規感染者基準※3	
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても対応困難	80% (651人)	—	<ul style="list-style-type: none"> 国への災害医療的な対応依頼 積極的疫学調査の重点化 等
レベル3 対策強化 レベル	一般医療の制限が必要	40% (326人)	50人 (874人)	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止 【緊急事態措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、休業・時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等 【まん延防止等重点措置】の対策 <ul style="list-style-type: none"> -飲食店等の人数制限要請※1、時短要請 -イベントの人数制限要請※1 -県外移動は極力控える呼びかけ※1 等
レベル2 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (122人)	10人 (175人)	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請※4、国へのまん延防止等重点措置要請 国とまん延防止等重点措置要請の協議開始 感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討 飲食店等の人数制限要請※1 感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請 感染リスクの高い行動回避の呼びかけ 段階的な病床の確保 等
レベル1 維持すべき レベル	一般医療が確保	—	1人 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的感染防止対策徹底の要請 イベントの感染防止対策徹底等の要請
レベル0 感染ゼロ	新規感染者ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置区域への移動を控える呼びかけ※1 等

(※1)ワクチン・検査パッケージ制度適用による緩和対象

(※2)最大確保病床使用率(12/28時点：814床に対する入院者数)

(※3)週の新規感染者数/人口10万人(本県人口換算)

(※4)自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う

(注1)病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。

(注2)感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (1月12日現在)

- 全世界においてオミクロン株の著しい感染拡大が継続している。
- 日本においては、年末にかけて感染者数が非常に少なくなっていたため、オミクロン株への置き換わりは急速に進んでいる。そのため、今後の感染拡大は、ほぼオミクロン株中心に進んでいくと考えられる。
- 熊本県の1月11日時点の入院者数は96人（最大確保病床に対する使用率：11.8%）、1月6日から1月11日までの新規感染者数は360人である。大部分がオミクロン株感染の可能性があり、今後のさらなる増加が懸念される。こうした状況から、リスクレベルはレベル2に引き上げることが妥当である。
- 現在の熊本県の感染の態様としては、年末年始の会食等を経路としている事例が多く見られている。また、若者の割合も高く、検査陽性率も上昇傾向にあることから、拡大傾向はしばらく継続すると考えられる。
- そのため、今後、高齢者施設・医療施設・学校等への感染波及やクラスター発生の可能性が高まっている。これらの施設での感染拡大は、重症者の増加や社会生活への影響などが大きく、医療への負荷も高まる可能性もあるため、クラスター対策の強化は重要である。
- 県においては、今後の感染状況によっては、国へのまん延防止等重点措置の要請が円滑に進むよう、準備を進めるとともに、基本的な感染防止対策の徹底や、体調不良時の迅速な受診についての啓発は継続するようお願いする。また、ワクチン3回目接種を可能な限り前倒して進めるとともに、リスクが高い方を確実に医療に繋げる体制を確認したうえで、トリアージを徹底し、感染者の増加に備えていただきたい。

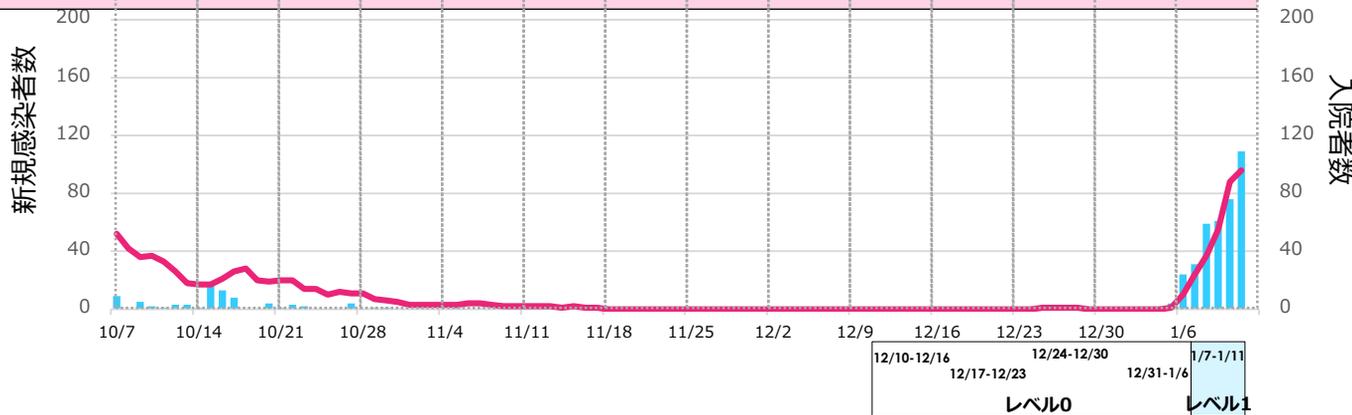
【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（10/7~1/11）：公表日ベース】

■ 新規感染者数

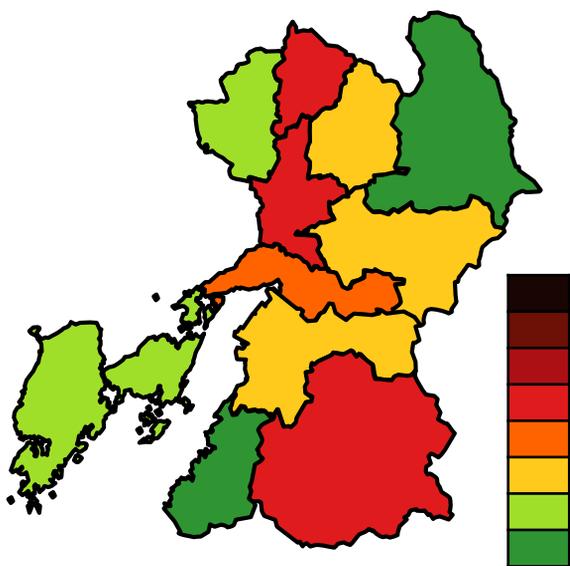
■ 入院者数

※ 1/6~1/11の6日間の数値

	10/7~ 10/13	10/14~ 10/20	10/21~ 10/27	10/28~ 11/3	11/4~ 11/10	11/11~ 11/17	11/18~ 11/24	11/25~ 12/1	12/2~ 12/8	12/9~ 12/15	12/16~ 12/22	12/23~ 12/29	12/30~ 1/5	1/6~ 1/11※
週新規感染者数	23	44	10	2	1	2	0	0	0	0	0	1	6	360※
10万人あたり	1.3	2.5	0.6	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0.1	0.3	20.6※
入院者数	18	19	11	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	96



【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	1/6~1/11※1	
	新規感染者数	人口10万人※2あたり
熊本市保健所	211	28.6
有明保健所	10	6.4
山鹿保健所	13	26.0
菊池保健所	23	12.4
阿蘇保健所	2	3.3
御船保健所	10	12.2
宇城保健所	23	22.2
八代保健所	20	14.8
水俣保健所	1	2.2
人吉保健所	38	45.3
天草保健所	9	8.2

※1 1/6~1/11の6日間の数値

※2 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

医療負荷の参考指標

感染状況の参考指標

時点	重症病床 使用率 (最大確保病床)	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率 ※3	感染経路 不明割合※4	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
1月11日	0%	286人	34%	0人	10人	29	100	575	4.2%※5	34.8%※6	182.0
1月5日	0%	4人	(25%)	0人	0人	0	2	4	0.18%	0%	6.0
12月29日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0.04%	0%	-
12月22日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月15日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月8日	0%	0人	(0%)	0人	0人	0	0	0	0%	0%	0
12月1日	0%	0人	(0%)	0人	0人	-	-	-	0%	0%	0
11月24日	0%	0人	(0%)	0人	0人	-	-	-	0%	0%	0

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上（175人）の場合に適用

※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール（国立感染症研究所）の短期予測を用い、本県のデータを用い算出（感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合がある）

※3 新規感染者数（公表日ベース）及び県内の全検査数の1週間合計より算出

※4 12月10日公表リスクレベル資料より新規感染者数（公表日）、最大確保病床数による集計値を用いるため、12月1日以前のデータについて一部再集計を実施。感染経路不明割合については12月1日以前のデータは確定日ベースの集計に基づく

※5 1月10日時点

※6 1月3日~1月9日の新規陽性者の感染経路に基づく暫定値。